

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域包括ケア課  
 担当名: 地域包括ケア担当  
 内線: 3248

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B16	地域包括ケアシステム深化・推進事業		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	埼玉県地域福祉支援計画推進事業費		
事業期間	令和4年度～令和6年度	根拠法令	社会福祉法第106条の4		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	11, 16
					分野施策	0806	多様な主体による地域社会づくり	SDGsターゲット	11-3, 11-7, 16-7
1 事業概要	<p>高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等のあらゆる人々が自分らしい生活を送ることができる社会を実現するためには、現行の高齢者を対象とした地域包括ケアシステムを深化・推進していくことが近道となる。</p> <p>また、この社会を実現する過程では、より住民に近い市町村に複雑化・複合化する課題に対応できる体制が必須であり、特にアウトリーチする能力及び地域資源の把握を含めた他機関との協働が必要不可欠となる。</p> <p>このため以下の事業を実施することにより、市町村の包括的な支援体制を構築を支援していく。</p> <p>地域包括ケアシステム深化・推進事業 △1,300千円                      執行見込み減額に伴う減額</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等の複雑化・複合化する課題に対応する包括的支援体制の構築を目指す市町村に推進員を派遣し支援を行う。                      アウトリーチや多機関との協働をコーディネートする手法について、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等にとられず、ひきこもり、ニート、不登校等の社会生活を営む上で困難を有する者への支援に携わる人材に対して研修を行う。</p> <p>(2) 事業計画                      包括的支援推進員派遣 包括的支援体制を進める市町村                      アウトリーチ（訪問支援）・多機関共同コーディネート研修 県内4箇所</p> <p>(3) 事業効果                      複雑化・複合化する課題に対応できる包括的な支援体制が構築されることにより、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等のあらゆる人々が自分らしい生活を送ることができる社会を実現することができる。</p> <p>(4) ) 県民・民間活力・職員のマンパワー、他団体との連携状況                      重層的支援体制整備事業に精通する有識者や市町村職員等の知見を活用するとともに、研修事業についても民間企業への委託により実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要                      新型コロナウイルスの影響により、市町村支援実績が当初の見込みを下回ったため。</p>						
2 事業主体及び負担区分	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国3/4・県1/4)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△1,300	△975						△325	3,184
現計額	4,484	3,363						1,121	

## 事業内訳書

事業名	地域包括ケアシステム深化・推進事業		
単位事業名	地域包括ケアシステム深化・推進事業	予算額	△ 1,300千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△1,230	—	重層的支援体制整備推進員の派遣回数が見込みを下回ったことによる減
旅費	△70	—	市町村との打ち合わせ旅費の減
合計	△1,300	—	